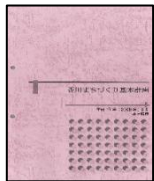



「香川まちづくり基本計画」における今後の方向性について

1 計画の概要

平成17年3月に策定された香川まちづくり基本計画は、地域におけるまちづくりの中長期的な共通目標を掲げており、概ね20年後を目標とした計画です。

	<p>◎香川まちづくり基本計画</p> <p>地区の将来像や土地利用、まちの骨格、主要なまちづくり事業などを示すもの</p> <p>【策定主体】茅ヶ崎市 【計画期間】平成17年度～概ね20年間</p> <p>【内 容】まちづくりの基本理念、目標、方針、具体事業など</p>
	<p>◎香川駅周辺地区まちづくり整備計画</p> <p>香川駅周辺の整備方針・整備計画を検討したもの</p> <p>【策定主体】茅ヶ崎市 【計画期間】なし</p> <p>【内 容】調査書（鉄道、駅、道路などの整備手法の検討、イメージ図など）</p>

2 計画の前提条件

概ね20年後をイメージして策定された基本計画には、計画条件が設定されています。

香川駅の行違い駅化に加え、基本計画が念頭に置く東海道新幹線新駅の誘致や相模線の複線化などの県央・湘南都市圏の発展に関する事業のほとんどは実現に至っておらず、香川地区内人口、香川駅乗降客数についても計画策定時の想定値には達していない状況です。

【計画の前提】	【計画条件】		
①東海岸寒川線の開通（区画整理事業地区～鶴が台団地）	香川地区内人口	香川駅乗降客数	
②香川・下寺尾区画整理事業の完了	想定値 13,940人	15,570人	
③JR相模線香川駅の行違い駅化【未達成】	【未達成】	【未達成】	

3 事業の進捗状況

まちづくりの方針を具現化するためのアクションプラン（34事業）の進捗状況としては、県央・湘南都市圏の発展と連動する事業の進捗がない一方で、香川のまちづくりに関する事業の大半は実施中であり、一部の事業については実施済みとなっています。

香川まちづくり基本計画	(1) 県央・湘南都市圏の発展と連動する事業 【進捗なし】
	(a)鉄道事業 ・香川駅の行違い駅化 ・駅前広場の整備 ・JR相模線の複線化 ・相鉄いずみの線延伸 (b)都市計画道路事業 ・東海岸寒川線の整備 ・中海岸寒川線の整備
	(2) 香川のまちづくりに関する事業
	(c)実施中の事業 ・香川甘沼線、市道7115号線の拡幅整備 ・市道0111号線の歩道整備 他15事業 (d)実施済の事業 ・自転車駐車場の整備 ・コミュニティバスの導入 ・地域福祉活動施設の整備 他8事業

4 基本計画の方向性

基本計画の方向性を検討するにあたり、地元自治会を中心とする地域住民の皆さまと計画の前提条件や事業の進捗状況について確認を行うとともに意見交換を実施しました。

このことを通じて、以下のとおり今後の方向性が見出されました。

実施日	会議名称	実施場所
令和6年4月25日	第1回意見交換会	香川自治会館
令和6年5月23日	第2回意見交換会	香川自治会館
令和6年9月19日	第3回意見交換会	香川自治会館
令和7年1月22日	第4回意見交換会	香川自治会館

※ 主な出席者：地元自治会、民生委員児童委員、青少年推進協議会委員など

主な意見

- ・基本計画は、長期ビジョンとして持ち続ける必要がある。
- ・県央・湘南都市圏の発展と連動する事業（長期的な事業）のほとんどが具現化していない。
- ・基本計画には、先行き不透明かつ市主体で進められない長期的な事業が含まれるため、現段階で次期計画を策定しようとしても現実的な計画を描けない。



今後の方向性

- ・現段階では計画の改訂や延伸は行わず※、県央・湘南都市圏の発展に関する事業の動向や上位計画の動向に応じて、計画の見直し等の検討を行う。
- ・適宜、地域と計画の進捗について意見交換を行う。

※ 計画の終期は特に定めないものとする。